



## 第3回

西海市が誇る国指定天然記念物

## 七釜鍾乳洞

## 七釜鍾乳洞とは？

国指定天然記念物である「七釜鍾乳洞」は、長崎県西海市西海町中浦北郷一帯に分布する複数の洞窟群の総称です。

現在観光洞として公開され



石灰藻球を含む石柱群（化石の森）



清水洞内の石筍（親子地蔵）

## 七釜鍾乳洞は

## どのようにしてできたの？

ている「清水洞」は、総延長約1600mのうち、約250mが観光コースとして公開されています。

また、清水洞のほかに2000mを超える「龍王洞」、1000mを超える「淵ヶ洞」など、35の洞窟が確認されています。

日本にある鍾乳洞の多くは3億〜2億5千万年前（古生代の終わり頃）の炭酸カルシウムを主成分とする石灰岩層を母岩とするのに対し、七釜鍾乳洞は約3400万年前

（古第三紀の終わり頃）の比較的浅い海の石灰藻球（藻の化石）を含んだ石灰質砂岩にできた洞窟であり、母岩が比較的新しい年代にできた希少性が評価されています。

## 七釜鍾乳洞の魅力

## （天然のエアコン）

鍾乳洞内は年間を通じて16℃前後で安定しており、夏は涼しく、冬は暖かく感じるものが特徴です。

また、清水洞では観光コースのほかに、ヘルメットやヘッドライトを着用して入る探検コースがあります。美しい「石筍」や「つらら石」を見ながら、水が流れる狭い空間を進むと冒険気分が味わえます。

西都市の皆さんも機会がありましたら、ぜひ七釜鍾乳洞にお越しください。

## 詳しくは

七ツ釜鍾乳洞事務所まで

☎0959-33-2303